

整理番号	HT25232	分野	自然、人文	(キーワード)	環境史、農業史、土粒子
------	---------	----	-------	---------	-------------

宮崎大学

土の粒子から農業や環境の歴史を科学する

先生(代表者)	氏名 宇田津 徹朗 (うだつ てつろう) 所属・職名 農学部附属農業博物館 ・ 館長(教授)	
自己紹介	日本や中国をはじめとする東アジアの水田稲作の発達と環境の変化について、国内外の植物学、遺伝学、考古学など様々な分野の研究者と一緒に研究をしています。中国の研究所で2年仕事をしたこともあります。この講座を通して、チームで研究する魅力やおもしろさもお伝えしたいと思います。	
開催日時・ 主な募集対象	平成25年 8月 1日(木)	(対象) 中学生 (人数) 20名
集合場所・時間	宮崎大学農学部附属農業博物館	集合時間 9:00
開催会場 (集合場所)	宮崎大学(木花キャンパス)農学部附属農業博物館 住所:〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1 アクセスマップ: http://www.agr.miyazaki-u.ac.jp/~museum/info/map.html	
内 容		
<p>みなさんは、「7千年前に稲作が始まった」や「1万年前は森が広がっていた」といった、文字も発明されていない時代の農業や環境は、どのように調査されていると思いますか？研究の現場では、土や水あるいは氷などに残された微細な粒子や成分を科学的に分析することによって、古代の農業や環境の情報を引き出しているのです。この講座では、身近な土や遺跡の土に含まれる粒子を取りだし、顕微鏡で観察をしながら、分析方法の一部を実際に体験してもらいながら、歴史を科学する研究方法について学習します。</p>		 
スケジュール		持 ち 物
9:00~9:20 受付 (宮崎大学農学部附属農業博物館前集合)		筆記用具、飲み物(夏季につき水分補給が必要な方はお茶などを各自用意して下さい)。
9:20~9:30 開講式 (あいさつ、日程説明、研究費の説明)		
9:30~10:30 講義 「農業と環境の歴史を科学するとは？」 (講師 宇田津徹朗)		特 記 事 項
10:30~10:40 休憩		※1 参加にあたっては保護者の同意(大学までの送迎は、保護者が責任を持つ)が事前に必要です。 ※2 受講者の昼食は当方で用意します。(保護者等が同伴される場合は、事前にお申し出があれば、実費にて同じ昼食を用意できます。ご持
10:40~12:00 実験① 「土からのプラント・オパールと火山ガラスの抽出」		
12:00~13:00 昼食・休憩		
13:00~15:00 実験② 「生物顕微鏡および実体顕微鏡を用いた抽出粒子の検出と同定」		

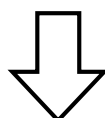
15:00～15:30	クッキータイム	参されても結構です。 ※3 参加申込された方へ 参加者決定後、スケジュール等の詳細について、保護者の方に郵送にてお知らせいたします。
15:30～16:00	講義(プログラムのまとめ) (講師 宇田津徹朗)	
16:00～16:30	閉講式 (「未来博士号」授与式、アンケート、記念撮影)	
16:30～	終了・解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	宮崎大学農学部附属農業博物館・宇田津徹朗（うだつてつろう）
住所：	〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地
TEL 番号：	0985-58-7256
FAX 番号：	0985-58-7256
E-mail：	a0e501u@cc.miyazaki-u.ac.jp
申込締切日：	平成25年 7月 22日（月）

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
宇田津徹朗	H25～27	挑戦的萌芽研究	25560137	イネのプラント・オパール中に内在する遺伝情報の抽出と利用にむけた開発的研究
宇田津徹朗	H24～27	基盤研究(B) (海外学術調査)	24401002	長江下流域における基盤整備型水田の成立期に関する学際的研究
宇田津徹朗	H21～24	基盤研究(B)	21300330	プラント・オパール中の炭素による生産遺構の年代測定法の確立
宇田津徹朗	H17～20	基盤研究(B)	17300290	縄文時代の稲作マップ作成にむけた実証的調査研究
宇田津徹朗	H16～18	萌芽研究	16650225	プラント・オパールからの環境情報抽出に関する基礎研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。